

レコード名	震 源 レ コ ー ド		レコード長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容	
1	レコード種別ヘッダー	A 1	A : 震源レコード B : 群発地震時の震源レコード D : 震源が離れた地震の組の震源レコード	
2	西暦	I 4	オリジンタイムの西暦	
3	月	I 2	" 月	
4	日	I 2	" 日	
5	時	I 2	" 時	
6	分	I 2	" 分	
7	秒	F 4. 2	" 秒	
8	標準誤差 (秒)	F 4. 2	" 標準誤差 (秒)	
9	緯度 (度)	I 3	震央の緯度 (度)	
10	緯度 (分)	F 4. 2	" (分)	
11	標準誤差 (分)	F 4. 2	" 標準誤差 (分)	
12	経度 (度)	I 4	震央の経度 (度)	
13	経度 (分)	F 4. 2	" (分)	
14	標準誤差 (分)	F 4. 2	" 標準誤差 (分)	
15	深さ (km)	F 5. 2 I 3, 2 X	深さフリーの条件で計算した時の震源の深さ (km) 深さ固定または下記の刻みの条件で計算した時の震源の深さ (km) 10km (1926年~1960年, 1967年~1982年) 20km (1961年~1966年) 1km (1983年~) 1982年以前の地震については適宜再調査され、深さフリーまたは1km刻みの震源に置き換えられる	
16	標準誤差 (km)	F 3. 2	震源の深さの標準誤差 (km) 深さフリー以外の条件の場合は空白	
17	マグニチュード1	F 2. 1	気象庁第1マグニチュードまたはUSGS等が計算した実体波マグニチュード 0未満の場合は以下のように表記する -0.1: -1 -0.9: -9 -1.0: A0 -1.9: A9 -2.0: B0 -3.0: C0	
18	" 種別	A 1	<気象庁マグニチュード> J : 旧観測網における坪井変位M (検知網展開以降は気象官署の震度計を2回積分して機械式地震計フィルターを適用した変位振幅に坪井変位Mを適用) D : 坪井変位Mに準拠した変位M d : Dに同じ、但し観測点数2点で決定 V : Dに準拠した速度M v : Vに同じ、但し観測点数2~3点で決定 <他機関マグニチュード> B : USGS等が計算した実体波M S : USGS等が計算した表面波M	

レコード名	震源レコード	レコード長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容
19	マグニチュード2	F 2. 1	気象庁第2マグニチュードまたはUSGS等が計算した表面波マグニチュード
20	種別	A 1	マグニチュード1種別と同様
21	使用走時表	A 1	<p>気象庁が震源を決定するために使った走時表の種類</p> <p>他機関の場合は空白</p> <p>1 : 市川・望月(1971)、または浜田(1984)(以下83A)などによる走時表</p> <p>2 : 市川(1978)による走時表(以下LL)(三陸沖等の地震)</p> <p>3 : 市川・望月(1971)による走時表とLL、または83AとLL(北海道東方沖等の地震)</p> <p>4 : 市川・望月(1971)による走時表とLL、または83AとLL(千島列島付近等の地震)</p> <p>5 : 上野・他(2002)による走時表(以下JMA2001)</p> <p>6 : JMA2001とLL(ただしLLはJMA2001のメッシュ間隔に適合させたもの)</p> <p>7 : 陸域用(JMA2001A)、東北太平洋沖用(JMA2020A)、東北アウターライズ用(JMA2020B)、南海トラフ用(JMA2020C)のいずれかの走時表</p> <p>上記2は三陸沖等、3は北海道東方沖等、4、6は千島列島付近等に震源が求まった場合に用いられる。</p>
22	震源評価	A 1	<p>震源を決定するにあたっての初期条件不明な場合は空白</p> <p>1 : 深さフリー</p> <p>2 : 深さ刻み条件(深さを一定の幅で変化させて計算)で最適解を求めた</p> <p>3 : 深さ固定等、人の判断による</p> <p>4 : Depth phaseを用いた</p> <p>5 : S-Pを用いた</p> <p>7 : 参考</p> <p>8 : 決定不能または不採用</p>
23	震源補助情報	A 1	<p>気象庁が決定した震源に対する情報</p> <p>他機関の場合空白</p> <p>1 : 通常地震                      2 : 他機関依存</p> <p>3 : 人工地震                      4 : ノイズ等</p> <p>5 : 低周波イベント</p>

レコード名	震 源	レ コ ー ド	レ コ ー ド 長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容	
24	最大震度	A 1	1 : 震度 1                      2 : 震度 2 3 : 震度 3                      4 : 震度 4 5 : 震度 5 (1996年9月まで) 6 : 震度 6 (1996年9月まで) 7 : 震度 7 A : 震度 5 弱                      B : 震度 5 強 C : 震度 6 弱                      D : 震度 6 強 L : 局発地震(最大有感距離が <sup>1</sup> 100km未満) (1977年まで) S : 小局発地震(最大有感距離が <sup>1</sup> 100km以上 200km未満) (1977年まで) M : やや顕著地震(最大有感距離が <sup>1</sup> 200km以上 300km未満) (1977年まで) R : 顕著地震(最大有感距離が <sup>1</sup> 300km以上) (1977年まで) F : 有感地震(1984年まで) X : 付近有感(1996年9月まで)	
25	被害規模	A 1	宇津が定めたところによる被害規模 1 : 壁や地面に亀裂が生じる程度の微小被害 (火山などの特殊な場所の地割れなどは除く) 2 : 家屋の破損、道路の破損などが生じる 程度の小被害 3 : 複数の死者または複数の全壊家屋が生 じる程度 (ただし4には達しない) 4 : 死者20人以上または家屋全壊1千戸以上 (ただし5には達しない) 5 : 死者200人以上または家屋全壊1万戸以上 (ただし6には達しない) 6 : 死者2000人以上または家屋全壊10万戸 以上 (ただし7には達しない) 7 : 死者2万人以上または家屋全壊100万戸 以上 X : 被害あったが程度がわからないもの、 または被害があったとみられるもの (1988年まで) Y : 同じ地域に直前または直後に起こった 地震の被害と一緒に、この地震の 被害のみを取り出してその程度を与える ことが難しいもので、直前または直 後の地震の被害に含まれている (1988年 まで)	

項番	項目名	型と長さ	内容
26	津波規模	A 1	1923年～1988年 宇津が定めたところによる津波規模 1 : 検潮器では津波が観測されたが被害なし T : 津波あり ----- 1989年～ 今村・飯田(1958)による津波規模 (文献等に記載がないものは、津波の観測値をもって津波規模とする) 1 : 波高50cm以下      2 : 波高1m前後 3 : 波高2m前後      4 : 波高4～6m程度 5 : 波高10～20m程度    6 : 波高30m以上
27	大地域区分番号	I 1	震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
28	小地域区分番号	I 3	震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
29	震央地名	A 2 2	震央地名
30	観測点数	I 5	震度 1 以上を観測した観測点の数
31	震源決定フラグ	A 1	K : 気象庁震源 S : 気象庁参考震源 N : 震源未計算(この場合、震源要素に先頭の震度観測点の位置が入る) U : USGS震源 I : ISC震源 R : 速報震源(管区にはあるが、本庁でない震源) H : 震度観測時刻が時間単位までのデータ D :           "       日単位までのデータ M :           "       月単位までのデータ

レコードレイアウト

レコード名 震源レコード レコード長 96B

項目	ヘッダー	西暦	月	日	時	分	秒	標準誤差 (秒)													
	型	A1	I4	I2	I2	I2	I2	F4.2	F4.2												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21

項目	緯度 (度)	緯度 (分)	標準誤差 (分)	経度 (度)	経度 (分)	標準誤差 (分)															
	型	I3	F4.2	F4.2	I4	F4.2	F4.2														
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42

項目	深さ (km)	標準誤差 (km)	マグニチュード1	M1種別	マグニチュード2	M2種別	使用走時表	震源評価	震源情報	最大震度	被害規模										
	型	F5.2 or I3, 2X	F3.2	F2.1	A1	F2.1	A1	A1	A1	A1	A1										
	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63

項目	津波規模	大地域番号	小地域番号	震央地名																	
	型	A1	I1	I3	A22																
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84

項目	観測点数	震源決定フラグ										
	型	I5	A1									
	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96